第3次さっぽろ都市農業ビジョン策定検討会開催及び運営に関する要綱

令和7年(2025)年5月28日制定

経済観光局長決裁

(目的)

第1条 札幌の都市農業のあり方と農業振興方針を示す「第3次さっぽろ都市農業ビジョン」を策定するにあたり、専門的な立場及び農業者や消費者の立場から意見を徴するため、「第3次さっぽろ都市農業ビジョン策定検討会」(以下「検討会」という。)の開催及び運営について定めるものとする。

(委員の選任)

第2条 検討会の委員は、学識経験者、農業関係団体の代表及び農業者、消費者等から選任することとし、次のとおりとする。

(1) 「学識経験者」は、農業を専門とする大学教授等から選任する。

(2) 「農業関係団体の代表及び農業者」は、次の役職等から選任する。

ア 札幌市農業委員会会長

イ 札幌市農業協同組合代表理事組合長

ウ サツラク農業協同組合代表理事組合長

エ 札幌市農業協同組合青年部長

オ 札幌市農業協同組合女性部長

(3) 「消費者」は、公益社団法人札幌消費者協会、野菜ソムリエ等、札幌の農業に関わりの深い者から選任する。

2 「農業関係団体の代表及び農業者」の立場から選任する委員は「当て職」とみなし、組織の役職に対して委員を委嘱する。

3 「学識経験者」及び「消費者」の立場から選任する委員は、「個人の委員」として委嘱する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、原則として委員が委嘱を受けた日から1年間とする。

2 前2項の「当て職」とみなす委員について、任期の途中で所属の改選、人事異動等があった場合は、後任者に委員の職を引き継ぐものとする。その際、新たな委嘱は行わず、後任者が前任者の任期の終わりまで委員を務めるものとする。

3 第2条第3項の「個人の委員」について、任期の途中で欠員が生じた場合は、札幌市附属機関等の設置及び運営に関する要綱第5条第1項の規定を準用し、適切な後任者を選任する。ただし、検討会の運営に影響しないと判断される場合等は、この限りでない。

(会議)

第4条 検討会は、必要に応じ経済観光局農政部長が召集する。

- 2 会議への出席が困難な委員は、あらかじめ届け出た代理者を会議に出席させることができる。
- 3 会議は公開し、開催後、その議事録等を公開する。ただし、会議を公開することが適当でないと認められるときは、この限りでない。

(謝礼等)

第5条 検討会に出席した委員に対して、札幌市特別職の職員の給与に関する条例（昭和26年条例第28号）別表「その他の附属機関の委員」に定める報酬日額に準じて1回の参加につき謝礼金12,500円を支給する。

- 2 検討会に出席した委員に対して、会議に出席するために要した費用について公共交通機関を利用した場合のみ費用弁償する。
- 3 代理出席者に対しても委員同様の取扱いとする。

(事務局)

第6条 検討会の事務局を経済観光局農政部に置き、運営等に係る庶務を行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、その都度、経済観光局農政部長が別に定める。

附則

(施行期日)

令和7年5月28日から施行する。